

〈ケア〉を考える会 (第 122 回)

■日時：2019年1月27日(日) 13:30~17:30



■会場：京都市山科区安朱中溝町3-2
山科駅より東 徒歩3~4分の民家
(山添 宅) (安朱保育園 東隣)



■当日の大まかな予定

13:00 ⇒ 有志集合…会場準備等

13:30~ ⇒ 学びの会/対話

15:30頃~ ⇒ 懇親会(笑いヨガ/音楽演奏なども)

17:00~17:30 ⇒ 片付け、終了

(その後で、名残惜しコーヒータイム?)

■内容

(1) 発表と対話

『共依存の倫理』と対話する

発表者：小西 真理子 さん (大阪大学〈臨床哲学〉講師)

(2) 懇親会…食べながら飲みながら語り合います(持ち込み歓迎)

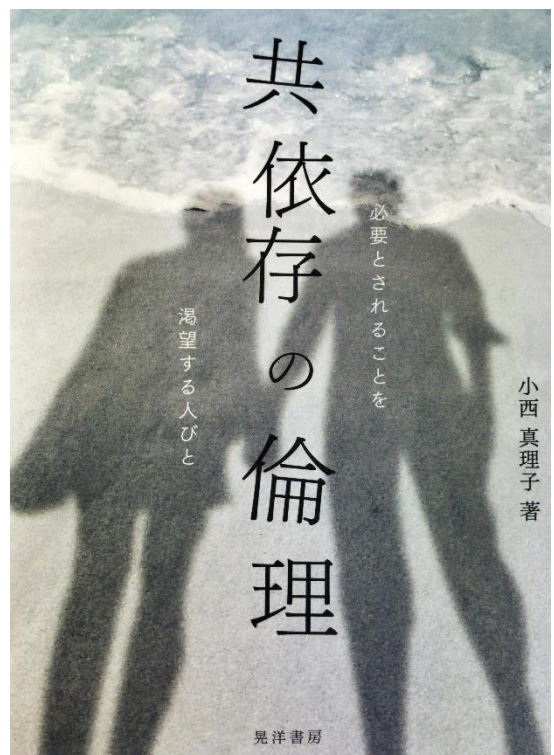
★会費：懇親会参加者のみ1000円。★どなたでも参加できます(初参加歓迎)。先着20名程度。

★問い合わせ⇒ 林まで：michi-care@outlook.jp 090-5366-1497

小西さんより…『共依存の倫理』の解説を簡単にさせていただいた後、第5章に収録しているAさんの語りを主にみなさんと対話させていただきたいです。Aさんは、家族に対する複雑な想いや、共依存関係のなかで経験した社会に対する疑問や、Aさん自身の葛藤などを率直に語ってくれました。Aさんは新たな生き方を発見した一方で、自分のように変わらない存在にも気づいています。私たちは、現に今生きている共依存の人たちといかに対話することができるのでしょうか。正しさを押し付けるのではない対話について、みなさんといっしょに考えたいです。

Aさんよりコメントです。

「少しでもこういう現状があるということ、社会に普通に常にあることが、読者にも、体験者にも伝わるとうれいす。そして世間がその現状で個人を卑下するのではなく、社会のなかにまさに今ある現代の現象としてサポート、理解してくれれば幸いです」(2018年12月)。



おたがいの言葉を手がかりに考える時間をもつこと、確かめながらゆっくりと考える時間を共にし、分け合う。

「考え」でなく、「考え方」をお互い共有してゆく。対話には結論はありません。

プロセスをゆたかにできなくては。

(長田弘『なつかしい時間』P.191)

「〈ケア〉を考える会」ホームページ
<http://care-kyoto.jimdo.com/>

「〈ケア〉を考える会-岡山」
<http://okayama-care.jimdo.com/>

わたしたちはじぶんのいのちが他のいのちとの交換のなかにあることを知らされる。

(鷲田清一『老いの空白』P.227)